

EA991CN-1～EA991CN-3 グリースガン 取扱説明書

Ver1.2

この度は当製品をご購入頂き誠に有難うございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますよう宜しくお願い致します。

【仕様】

- 容量…500ml
- 適用グリース…NLGI-1～-2
- 筒長…300mm
- 150mmスチールノズル(カプラー付)
- グリース充填方法…カートリッジグリース(筒形)手詰め

品番	仕様
EA991CN-1	スタンダード
EA991CN-2	プロスタンダード
EA991CN-3	プロハード

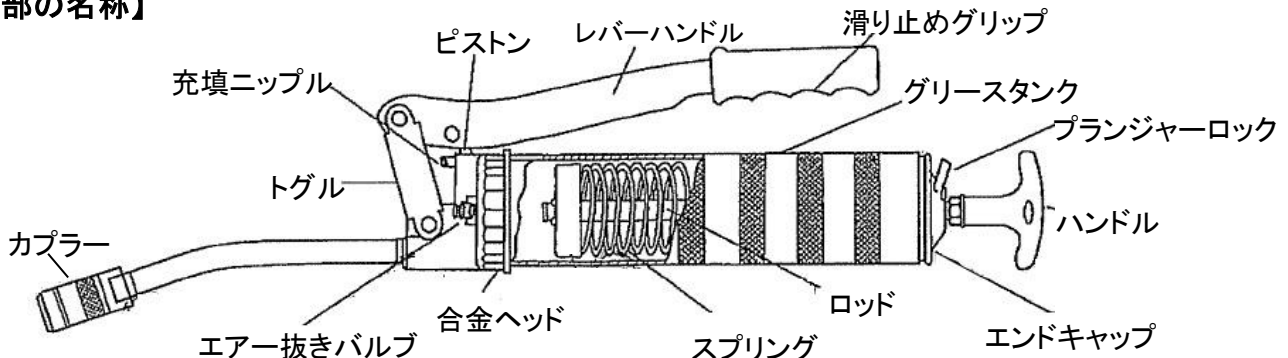
(廃番)



警告

- ご使用前に必ずお読み下さい。下記事項をよく読み、理解し、必ず守って下さい。
グリースガンは、推奨される方法でのみ使用して下さい。
どのような道具・工具も、使い方を誤れば機能しません。
グリースガン使用中に怪我をしないよう、下記の安全上の注意と規則に従って下さい。
- 用途以外の目的に使用しないで下さい。
 - 無理に力を加えて使用しないで下さい。又、ハンドルを延長する等の行為もしないで下さい。
 - 作業に適した服装をして下さい。ブカブカの服や宝石等は身に付けしないで下さい。
グリースガン使用の際は、保護用手袋、又、滑り止めの靴を履く事をお勧めします。
作業保護の為、安全メガネ、安全ゴーグル、または、フェイスシールドマスク、安全靴やアームプロテクター、エプロン等の保護用具を必ず使用して下さい。
長髪の方は、キャップ等を被って下さい。
 - 作業環境は、足場の良い、また明るい場所で行って下さい。
 - マスクを着用して下さい。
危険ガスや煙・蒸気の吸入を避ける為にも適切なマスクを着用して下さい。
 - 集中して作業を行って下さい。
疲れている時や何らかの薬物(風邪薬等)の副作用が生じている際には、グリースガンの使用を控えて下さい。特に、単調な作業時は十分注意して下さい。
慎重、且つ、指示に従って使用しなければ、時に危険なツールとなりえます。
 - 子供や部外者に操作させないで下さい。
 - グリースガン使用前に、適切な作業現場であるか、また適切に作動するかどうかをご確認下さい。
損傷箇所がないかを充分チェックし、異常がなければグリースガンは適切に作動します。
もし部品の破損等機能上に影響が有り得る箇所があれば、使用を中止して下さい。
 - グリースガンをより良く安全に使用する為にも、手入れを行って下さい。
定期的に点検・メンテナンスを行って下さい。
決して圧力がかかっている時に修理を行ったり、又、分解をしないで下さい。
 - 保管に際しては、子供の手の届かない所、又、乾燥した場所で保管下さい。
 - 改造はしないで下さい。必ず正規の技術者によってのみ修理を行って下さい。
 - グリースの取り扱い、噴射、及び廃棄に関しては、常にご使用の地域の法律や条例を確認するようにして下さい。噴射したグリースは正しく廃棄して下さい。
街中の排水溝、住居の下水管、及び裏庭等に廃棄するのは止めて下さい。
正しい廃棄方法に関しては、ご使用の地域の地方自治体の廃棄物管理担当者に問合せ下さい。
グリースガンが安全な状態にあるかどうか少しでも疑わしい場合には、使用を控えて下さい。
 - 適応するNLGIでもグリースによっては使用できない場合があります。

【各部の名称】



【グリースの充填方法】

EA991CN-1・EA991CN-2は、2通り(カートリッジグリース、手詰め)

EA991CN-3は、3通り(カートリッジグリース、手詰め、充填ポンプ)のグリース充填方法があります。

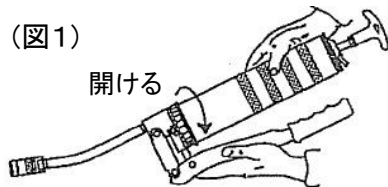
以下のグリース充填方法を参照して下さい。

注油前に、グリースを綺麗に拭き取って下さい。

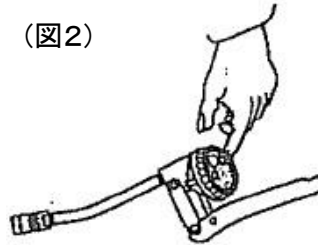
古いグリースや注油する装置に進入する恐れがある汚れ等を除去して下さい。

(吸入式/手詰め)

1. グリースガンからグリースタンクを外します(グリースタンクを反時計方向へ回して下さい) (図1)
ヘッドにグリースを詰めて下さい (図2)



(図2)



(図3)



2. グリースタンクの口を、グリース容器の中へ挿入します。(図3)
3. グリースの中へグリースタンクの口を挿入しながら、ハンドルをゆっくり引いて、タンク内へグリースを吸い上げます。
※空気が噛み込んだりしないように注意して下さい。
4. ハンドルが完全に伸びたら、プランジャーロックでハンドルは固定されます。
5. グリースタンクに付いた余分なグリースを取り除き、グリースタンクをヘッドに取り付けます (図4)
6. プランジャーロックを解除します。ハンドルがタンク内へ戻り、押し込まれていきます。
7. グリースガンに装填をします。

〔装填とは、グリースガンのポンプ機構からエアを抜いて、グリースを入れる行為を指します。〕

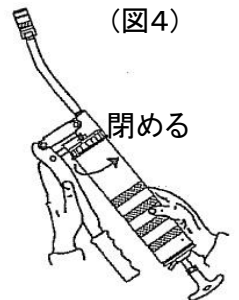
この作業は、グリースガンへ装填する際、タンク内に閉じ込められたエアを追い出すのに非常に重要な作業です。

ほとんどの場合、レバーハンドルを数回操作するだけで装填は完了します。

グリースが吐出されない場合は、ヘッド部分のエアを抜く必要があります。

8. グリースガンのカプラーからグリースが吐出されるまで、レバーハンドルを数回操作します。

(図4)



(グリース充填ポンプ使用)

EA991CN-3のみ、充填ポンプを利用したの充填が可能です。

グリースガン本体に装着されている充填ニップルを使用(EA991CN-1・-2は充填ニップル無し)



警告

充填ニップルは、ポンプのカプラーに接続します。

カプラーがなければポンプは機能しません。

グリースガンには低圧の充填ニップルが装備されておりますので、



注意

高圧ニップルと付け替えないで下さい。

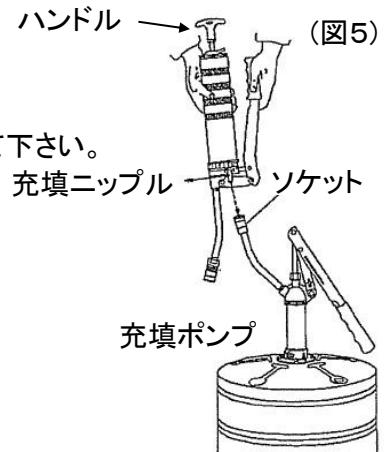
過度な圧力による使用は怪我の原因となります。又、その際の責任は負いません。

1. 綺麗な布で充填ニップルを拭いて下さい。
2. ハンドルをグリースタンク内へ完全に押し込んで下さい。
3. 充填ポンプのソケットへ充填ニップルを挿入し、ハンドルを少し引いて下さい (図5)
4. グリースタンクがグリースで一杯になるまで、ポンプを 작동させて下さい。
グリースタンク内が一杯になると、グリースハンドルは完全に伸びます。
5. 充填ポンプのソケットから充填ニップルを外して下さい。
6. プランジャーロックを解除して、ハンドルのロックを解いて下さい。
グリースタンク内へハンドルが戻り、押し込まれていきます。
7. グリースガンにグリースを充填する際は、エアポケットを防止する事が非常に重要です。
グリースタンク内のエアポケットを放出する為に、エア抜きバルブを押しながらハンドルを数回操作して下さい。
ほとんどの場合、ハンドルを数回操作するだけでエア抜きが行えます。
8. グリースガンのカプラーからグリースが吐出されるまで、レバーハンドルを数回操作します。

ハンドル (図5)

充填ニップル ソケット

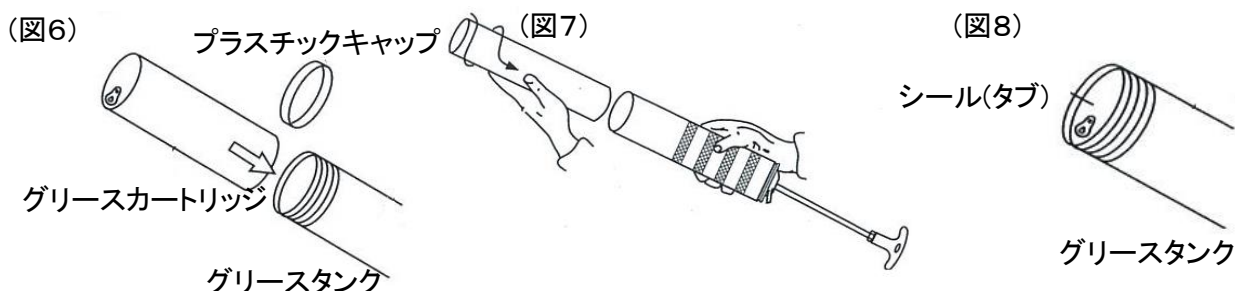
充填ポンプ



グリースが吐出されない場合は、グリースタンク内のエアを抜く必要があります。

(カートリッジグリース)

1. グリースガンからグリースタンクを外します。(グリースタンクを反時計方向へ回して下さい) (図1)
ヘッドにグリースを詰めて下さい。(図2)
2. ハンドルを引いて下さい。
ハンドルが完全に伸びると、ピストンロックが機能しハンドルはロックされます。
3. カートリッジグリースのキャップを外し、グリースタンクへ挿入して下さい。(図6)
※キャップを外した方を頭にしてグリースタンクへ挿入して下さい。
4. カートリッジグリースのタブがグリースタンクの端と重なるまで、
カートリッジグリースを押し込んで下さい。(図7)
その後、カートリッジグリースのタブを引いて開けて下さい。(図8)
5. グリースタンクをヘッドへ戻し、しっかりと閉めて下さい。(図4)
6. ピストンロックを解除し、ハンドルのロックを解いて下さい。
グリースタンク内へハンドルが戻り、押し込まれていきます。
7. エア抜きバルブを押して、グリースタンク内のエアを完全に排出して下さい。
8. グリースガンのカプラーからグリースが吐出されるまで、レバーハンドルを数回操作します。



【トラブルシューティング】

問 題	考えられる原因	解決策
グリースが出ない	1. カートリッジグリース及びグリースタンク内にグリースが入っていない 2. グリースガンのヘッド部分でエアが咬んでいる	●カートリッジグリースの交換、グリースタンクへグリースを充填する ●エア抜きバルブを押す、又、グリースハンドルを操作し、エアを排出して下さい
カートリッジグリースが完全に空にならない(全て吐出しない) 又、カートリッジグリースが完全に無くなっているかどうか分からない	ロッドのタブがラバーピストンと引っ付いている	●ロッドとラバーピストンを繋いで下さい ●グリースが前方へ動くまでタンク内へハンドルを押して下さい ●グリースタンクのキャップからハンドルの先端までの距離を測る ●測定値が45mm以上であれば、カートリッジグリースは空になっていない ●もし完全に無くならないのなら、グリースを前方へ押し出した後、ラバーピストンからロッドを外して下さい
グリースがタンクやヘッドから漏れる	グリースタンクとヘッドがしっかりと閉められていない。 ヘッド内側のラバーが損傷、もしくは、無くなっている	●グリースタンクとヘッドをしっかりと閉める。 又、ラバーを交換する。
ノズルやヘッドからグリースが漏れる	1. ヘッドとノズル、又、ノズル先端のカプラーがしっかりと閉められていない 2. 充填ニップルが緩んでいる 3. エア抜きバルブのリングが劣化している 4. ピストンが劣化・損傷している、ヘッドに穴が開いている	●ヘッドとノズル、ノズルとカプラーをしっかりと閉める ●充填ニップルをしっかりと閉める ●リング、もしくは、エア抜きバルブを交換する

株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3丁目8番14号

TEL(06)6532-6226 FAX(06)6541-0929

16.JUL